

授業改善プロジェクトの推進について

1. 目的と基本方針

本校では、茨城県が推進する「授業改善プロジェクト」に基づき、組織的な授業改善を行っています。「地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人財の育成」「生徒一人一人の幅広いニーズに対応した教育課程による、就職から進学までの進路希望実現」「自己実現・進路目標実現を目指し、日々努力する生徒の受け入れ」の三つの方針(スクール・ポリシー)実現を目指し、質の高い教育活動を実践するための体制を整備しています。

2. 具体的な実施項目

本校における授業改善の主な取り組みは以下のとおりです。

(1) 教員間での相互授業参観(6月・11月実施)

- 全教科の教員を対象として実施しています。4～5名1組のグループを編成し、互いの授業を観察し合うことで、客観的な視点から指導方法の検討や意見交換を行っています。

(2) 開かれた授業公開(保護者・学校評議員対象)

- 保護者対象(5月・1月):5月のPTA総会に合わせて実施し、日頃の学習の様子を公開しています。また1月には2年生が総合的な探究の時間で取り組んだ「いばたん東海村 No.1 決定戦」の様子を公開し、生徒たちが主体的に課題解決に取り組む姿をご覧いただいております。
- 学校評議員対象(1月):学校運営協議会に合わせて実施し、外部の方々からの助言を頂いています。

(3) ICT 機器の戦略的活用

- 座学のみならず、実技科目を含むすべての授業を対象に、ICT 機器を効果的に取り入れた分かりやすい授業を追求します。

(4) 少人数による習熟度別授業の実施

- 数学においては1年生に習熟度別の少人数授業を展開し、理解度に応じたきめ細かい授業を実施しています。また国語・英語でも少人数での授業を取り入れ、生徒の理解が深まるように努めています。

(5) 他校視察による知見の導入

- 他校の事例を視察し、本校の授業改善に積極的に取り入れています。2025年度は東海中学校と東海南中学校を視察し、特別支援教育や中学校の授業の現状について研修しました。

3. 生徒による授業評価の活用

教育委員会が実施する「生徒による授業評価アンケート」を年2回(6月・11月)実施しています。また、本校独自に生徒は(6月、12月)2回、保護者にも(12月)1回学校生活アンケートを行い、学校生活と学習の状況を把握しています。アンケート結果を詳細に分析し、生徒の視点を取り入れた授業改善を継続的に行っています。